

パブリックコメント

市民の皆さんからのご意見を募集します！

誰でも利用しやすく親しみやすい市民文化会館の建設を目指すし、市民文化会館基本設計に関する皆さんのご意見を募集します。

◎意見を提出できる方

▷市内に住所を有する方または市内に勤務・通学している方 ▷市内に事務所を有する個人または法人その他の団体

◎意見提出期間

7月1日(日)～31日(火)

◎提出方法

本庁舎・各庁舎に基本設計概要書と意見箱を設置していますので、ご意見をお寄せください。なお、市ホームページでも同概要書を掲載していますので、郵便・FAX・Eメールで提出していただけます。

※設計図書は、本庁舎まちづくり推進課で閲覧できます。

◎問い合わせ先

本庁舎まちづくり推進課 ☎1111
内2744 / 〒961-8602 白河市八幡小路7-1 / Eメール machi@shirakawa.fukushima.jp

コンセプトⅣ
創出×教育×交流
白河のまちなみに調和するよ
まはるに親和した新しいシンボル

白河のまちなみに調和するよう、外周部の高さを抑えた建物とします。
白河地域の風景や自然を感じることができる設計とします。
省エネルギーや省工エネルギーに関する設備を導入し、地球環境に配慮した施設とします。

コンセプトⅢ
創出×教育×交流
まはるに日常的な賑わいを創出

施設を東西に貫くモール状の通り抜け空間「カギガタモール」に面して、イベント活用ができる中庭やラウンジ、一般開放が可能な茶屋や練習室などを配置します。
ホールでの催し以外でも賑わいが生まれる施設とし、誰もが利用しやすい、人々が集まる交流拠点の場とします。

コンセプトⅡ
創出×教育×交流
人と芸術が共創する場所

コンサート・演劇・講演会・式典や市民の発表会など、様々な催しを行うことができる文化施設とします。
大ホールは、客席が舞台を取り囲む形状とし、舞台と客席の一体感を醸成するホールとします。
小ホールは、移動可能な客席とすることで、様々な運用が可能なホールとします。

コンセプトⅠ
創出×教育×交流
親しみ・学び・触れ合う場所

松平定信公の「士民共楽」の理念に基づき、誰もが気軽に集い、良質な芸術文化に触れることができる施設とします。
バリアフリーに配慮し、大に優しい施設とします。



市民文化会館イメージ

市民文化会館建設に向けた基本設計がまとまりました

市民の「絆」が深まる文化施設へ！

敷地概要

建築場所 会津町1-17ほか (市立図書館西側)
敷地面積 約11,300㎡
用途区域 商業地域
許容積率 300%
許容建蔽率 80%

施設概要

構造 鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
規模 地下1階、地上3階
建築面積 約6,200㎡
延床面積 約9,750㎡
席数 大ホール1,100席 (うち多目的鑑賞室8席、車椅子スペース6席)、小ホール320席 (うち多目的鑑賞室3席、車椅子スペース2席)

仮称 白河市民文化会館

人・文化を育てる 発信拠点に期待

待ちに待った白河市民文化会館。これ以上良い立地条件はないだろうと思われる場所への建設。県内屈指のホールとなることでしょう。
内部は木材を多く使用し、温かみがあり、響きの美しさに期待したいです。長い間、「白河には文化が育たない」と言われてきました。しかし、大正ロマンを思わせる白河駅舎、小峰城、図書館とともに文化の発信拠点となることと思います。
人、文化との出会いに、今からワクワクしています。



浅川なおみさん
白河文化団体連絡協議会

「市民の皆さんに望まれる新しい市民文化会館について」意見をまとめました！

人々の回遊性を考慮した魅力的な施設

新たな文化拠点の創出を目指し、少子高齢・人口減少社会や財政バランスの重要性なども念頭に置き、委員会に参加しました。ホールの考え方については十人十色でしたが、その一つの答えができました。考えられる音響設計等の英知が集められています。普段の人々の回遊性も考慮されていて、魅力的な施設になることを確信しています。
なお、今後の取り組みでの目標視点は、優れた経営・高稼働率化・広域運用などにあると思います。将来を見据えて、市民の皆さんで育てていきましょう。



市民文化会館建設検討委員会
加口敏さん
公募委員

平成27年度の開館を目指す市民文化会館の基本設計がまとまりました。市では、この設計図書を公開し、市民の皆さんのご意見を募集して、より良い市民文化会館建設に向けて取り組んでいきます。



■小ホールイメージ

小ホール 平面図2

移動可能な客席とすることで、利用形態によって平土間形式・段床形式・劇場形式に転換し、多目的な利用が可能なホールとします。

舞台のレベルを変えずに、座席前列を下げることでステージを形成。舞台と楽屋は段差なしで行き来することができます。

自由な空間で表現する喜びを皆さんに

小ホールは、市民の皆さんの発表・創作の場として、幅広い期待が寄せられています。そのため、様々な工夫が設けられています。

枠にとらわれない、自由なこの空間で表現する喜びを子どもたちをはじめ、市民の皆さんが分かち合える場となり、白河発の新しい文化が創造されることを期待しています。



市民文化会館建設検討委員会 佐藤 大造 さん

施設配置計画 日々の賑わいを醸し出す交流の場

東側に開いたメインエントランスから敷地西側の広場をつなぐ「カギガタモール」は、2つのホール、楽屋、練習場などの各部屋に面することで多様なたまり空間をつくり、日々の賑わいを創出します。

両ホールを背中合わせの構成として、楽屋を一体的に整備します。また、モールから楽屋へ出入りができる配置とすることで、ホールを利用していない時間帯など、一般開放も可能とします。

限られた敷地の中でゆとりある豊かな空間づくりを行うため、モールの中

央エリアに中庭を設け、サロンコンサートなどのイベントに利用できます。中庭は、周囲の強風を遮り、外光を取り込みます。また、小ホールの2階ホワイエ（ロビー）ともつながり、施設全体の回遊性を生み出します。



■大ホールイメージ

大ホール 平面図1

音楽を主とした多機能ホールとします。音響反射板を取り付けることで、より多くの席に高質な音を届けます。

舞台を取り囲むように客席を配置する「もみあげ式」により、舞台と客席の一体感を演出します。

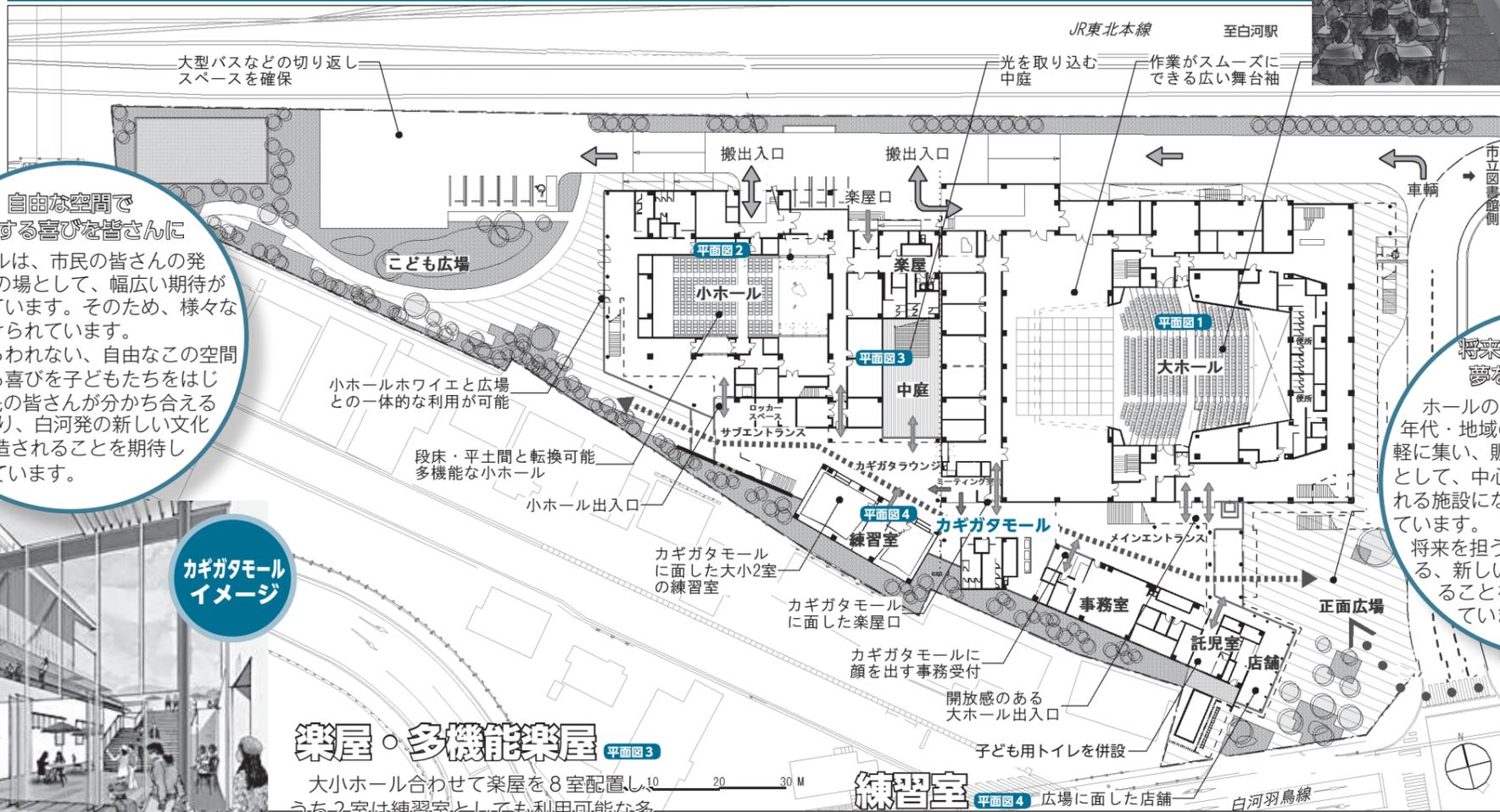
将来の子どもたちが夢を描ける施設を！

ホールの利用以外でも、幅広い年代・地域の皆さんが、普段から気軽に集い、賑わいが生まれる交流の場として、中心市街地の活性化に生かされる施設になるのではないかと期待しています。

将来を担う子どもたちが夢を描ける、新しい市民文化会館ができることを今から心待ちにしています。



市民文化会館建設検討委員会 佐藤 大造 さん



カギガタモールイメージ



楽屋・多機能楽屋 平面図3

大小ホール合わせて楽屋を8室配置し、うち2室は練習室としても利用可能な多機能楽屋としています。

ホールを利用していない時間帯には、楽屋の一部を打ち合わせや文化活動のために一般開放します。

練習室 平面図4

「カギガタモール」に面してスタジオ機能を備えた2つの練習室を配置します。ダンスやバンドの練習など、様々な活動の様子をモールから垣間見ることができます。